



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

コロイドおよび界面化学部会 “C & I Commun”のご紹介

はじめに

コロイドおよび界面化学部会では、部会員の皆様に向けて“Colloid & Interface Communications (C & I Commun)”という名称のニュースレター(部会誌)を年4回発行し、お届けしています。C & I Communは、部会員の皆様の情報交換・情報発信の場として長年親しまれており、ニュースレターとしては2025年に節目となる50年目を迎え、現在、Vol. 50を発刊中です。C & I Communは、コロイドおよび界面化学部会のニュースレター編集委員会が担当して作成しています。現在は24名の編集委員がおり、大学や研究機関の研究者と企業の研究者から構成されています。分野や年代や地域の異なるバラエティー豊かなメンバーになっており、皆で意見を出し合い、誌面作りに取り組んでいます。特に、特集記事は、編集委員メンバーが日頃から感じている興味や課題意識などからアイデアを出し、部会員の関心にかなうような記事とするべく、担当委員で議論を重ねて作り上げています。

C & I Communのコンテンツ紹介

C & I Communの誌面は、巻頭言、特集記事、Interface、Topics、研究室紹介、リレートーク、部会から、会告といった内容で構成されています。

巻頭言では、各委員会の委員長からそれぞれの委員会の目的や活動内容について発信いただいています。

Interfaceは、大学や研究機関の研究者が自身の研究内容をわかりやすく紹介する記事欄です。若手研究者を中心に、コロイドおよび界面化学に関わる研究で活躍をしている方に寄稿をお願いしています。部会員でない方にもご寄稿いただくことがありますので、もし編集委員からお声掛けがありましたら、ご執筆をお引き受けいただければ幸いです(もし部会員でなければ、それを機に部会員になっていただければさらに幸いです)。また、Interfaceでは、コロイドおよび界面化学討論会にて「若手口頭講演賞」を受賞された方に、「若手注目研究」として研究紹介記事を執筆いただいています。さらに、当部会から優れた研究成果を上げた研究者に授与される「科学奨励賞」と「技術奨励賞」の受賞者にも「奨励賞レビュー」という形で寄稿いただいています。若手研究者を中心とする発信の場として、充実したコーナーになっています。

Topicsでは、企業研究者の方に研究内容の紹介記事をご寄稿いただいています。最先端の技術や新しい製品の開発などについてわかりやすく解説いただいております。同業の方だけでなく、学生の皆さんにとっても興味深い内容になっていると思います。その他、研究室紹介やリ

レートークなど、気軽にお読みいただけるコーナーもあります。

部会員でなくても、ぜひ

現在、C & I Communは学生会員を除く部会員に冊子体としてお届けしていますが、本誌の記事はJ-STAGEでオープンアクセスにて公開しておりますので、なたでもお読みいただくことができます(下のQRコードまたは、<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/cicommun/-char/ja>からどうぞ)。「界面」というキーワードは、相の境界を意味しており、本部会員の研究対象になっていますが、一方で界面自体に注目はしていません。あらゆる分野の研究において、その研究対象に界面は存在し、ときにはその理解が大きな意味を持つこともあると思います。また、「界面」は相の境界であることから、異分野融合研究における共通の場にもなりえるかもしれません。少しでもコロイド・界面に興味を持っていただけたら、その入り口として、本ニュースレターの記事をご覧ください。ことをお勧めいたします。ぜひ気軽にご覧いただければ幸いです。



〔2025年度C & I Commun編集委員長
近藤剛史(東京理科大学)〕

© 2025 The Chemical Society of Japan